

政令市初の許可書の廃止及び クレジット決済による手数料納付の確立 によるオンライン化の飛躍的な拡充！ ～ 危険物・石油コンビナートに関する 全ての申請・届出のオンライン化を実現 ～



福岡県 福岡市消防局

事例類型	Ⅲ 効率化 / Ⅶ デジタル化
取組期間	令和 5 年 4 月から

背景

オンライン化の推進は、申請者の負担軽減だけでなく、職員の事務処理負担の軽減にも繋がるため、双方に大きなメリットをもたらし、全国的にも推進が期待される分野といえる。

本市消防局において、危険物・石油コンビナートに関する届出については、従来からオンラインによる受付を開始していたが、許可書の処分通知を紙に印刷し、公印を押印してから申請者に交付していたため、申請等をオンライン化することが困難な状況であった。

また、手数料徴収のオンライン化を確立できておらず、関係事業者からもオンライン化の要望が寄せられていた。

このような背景から、オンライン化の拡充は本市消防局における今年度の最重要テーマのひとつとして課題解決に取り組んできた。

内容

本事案は、段階的に課題解決を行うことで、オンライン化の拡充を図った。

① 政令市初の処分通知のペーパーレス化と申請者への迅速な交付

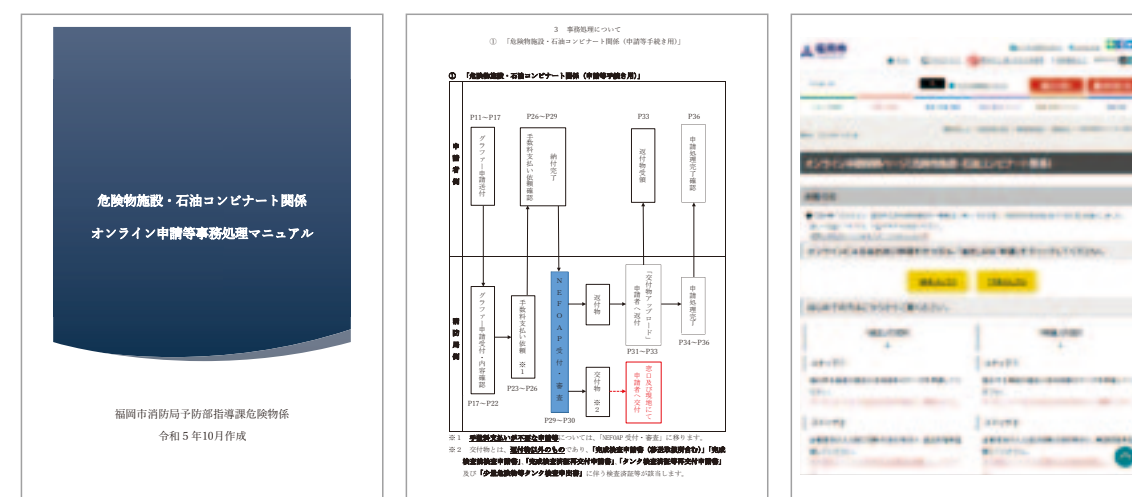
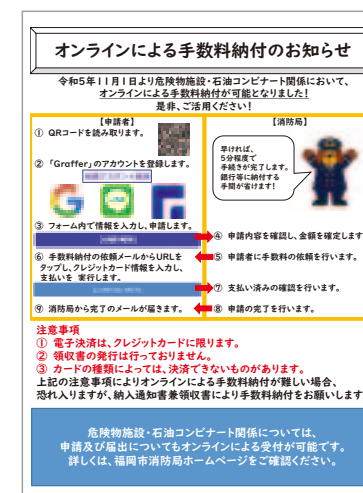
第1段階として処分通知のペーパーレス化のため、福岡市危険物規制規則の一部改正を行い、政令市で初となる「許可書」を廃止し、申請書に許可の行政処分を明記した押印を行い、オンラインにより交付することとした。また、本市消防局では、完成検査済証、完成検査前検査済証、タンク検査済証及び少量危険物等タンク検査済証(以下、「完成検査済証等」という。)については、検査場所での交付を可能としているため、オンライン申請の場合、申請者と職員が対面でのやりとりを行う機会が検査時のみとなり、基準に適合していればその場で完成検査済証等を交付することができ、検査後の危険物施設の即時運用を可能とした。



② クレジット決済の追加

第2段階として手数料徴収のオンライン化のため、福岡市で導入しているグラファースマート申請を活用することにより、クレジット決済による手数料の納付を開始した。また、窓口で申請を行う場合についてもクレジット決済の拡充を進め、従来であれば納入通知書による金融機関での振り込みのみであったが、本部及び各消防署に設置している「決済用QRコード」を申請者が読み取ることで、申請からクレジット決済完了まで最短3分程度で行うことができる。最寄りの銀行や郵便局まで徒歩15分以上かかる消防署もあるため、今後利用頻度が増えることが期待される。

上記①及び②の実施により、危険物・石油コンビナートに関する全ての申請・届出のオンライン化を実現した。これに伴い、「危険物施設・石油コンビナート関係オンライン申請等事務処理マニュアル」を策定し、オンライン申請等事務処理の効率化・円滑化を図るとともに、ホームページの作成を行い、オンライン化の拡充に関して周知を図った。



成果

上記取組により、市内の危険物・石油コンビナートに関するオンライン化率100%を達成することができた。これにより事務の効率化や簡素化ができ、市民・職員の負担軽減に繋がり双方に多大なるメリットをもたらす結果となった。

申請等のオンライン化を実現したことにより、県外関係者や電子化を推進している事業者等幅広い層の方から業務上大変有益なものとして評価をいただいている。

特記事項

本事案は、「令和5年度危険物等事故防止ブロック会議(九州ブロック)」において、議題及び情報提供として発表した。

手数料の納付手段がクレジットカードに限定されていることや、領収証の発行ができないこと等依然として課題は残されている。国及び他都市の動向を注視しながら、市民サービス向上及び本市消防局における事務処理の効率化・簡素化を行うべく検討を重ね、更なる利便性の向上を目指す所存である。

選考委員のコメント

危険物行政は予防業務において極めて重要な業務である。処分通知のオンライン交付と手数料のクレジット決済を同時に導入することは、職員と事業者の双方に大きなメリットをもたらす取組として高く評価される。他の消防本部においても参考となる有用な事例である。